再評価結果(令和6年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局国道·技術課

担当課長名: 髙松 諭

事業名 一般国道116号新潟西道路 事業 一般国道 事業 国土交通省 区分 主体 北陸地方整備局 延長 起終点 自:新潟県新潟市西区明田 4. 2km 至:新潟県新潟市西区曽和

-般国道116号新潟西道路は、新潟東西道路の西端にあたり、現況平面2車線区間(延長4.2km)を アクセスコントロールされた4車線道路に整備する事業である。

H31年度事業化 H23年度都市計画決定 R3年度用地着手 工事未着手 全体事業費 300億円 事業進捗率 2% 供用済延長 — km (令和5年3月末時点) 43,900~56,100台/日 計画交通量 費用対効果 B/C 総費用 (残事業)/(事業全体) 総便益 (残事業)/(事業全体) 基準年 分析結果 (事業全体) 245/251億円 670/670億円 | 令和5年 事 業 費: 208/215 億円 走行時間短縮便益: 555/555 億円 3 2.7 (残事業) 走行経費減少便益: 84/84 億円 維持管理費: 36/36 億円 交通事故減少便益: 30/30 億円 2. 7

感度分析の結果

(事業全体)

(残事業)

交 通 量: B/C=2.4~3.0 (交通量 ±10%) 交 通 量: B/C=2.4~3.1 (交通量 ±10%) 事 業 費: B/C=2.5~3.0 (事業費 ±10%) 事 業 費:B/C=2.5~2.9 (事業費 ±10%) 事業期間: B/C=2.5~2.8 (事業期間 ±20%) 事業期間: B/C=2.6~2.9 (事業期間 ±20%)

事業の効果等

- ① 抜け道利用による周辺道路の影響
 - ・曽和交差点から明田交差点における渋滞を回避するため、生活道路へと流入する抜け道利用車 が発生している。
 - ・抜け道利用車が通過する生活道路の一部は、小中学校の通学路に指定されているが、走行速度 が速く、急ブレーキが多発しており、地域住民の安全性に課題がある。
 - ・一般国道116号の渋滞解消により、抜け道利用車が減少し、周辺の生活道路における安全性向上 が期待される。

② 産業活動の支援

- ・当該区間周辺には、多数の金属工業団地が立地している他、貿易振興を目的に輸出入貨物を 集積するインランド・デポ(内陸保税蔵置場)が立地している。製品の一部は、新潟東港等 から輸出されており、当該区間は金属工業団地と新潟東港を結ぶ主要物流経路の1つであるが、 交通渋滞により、円滑な物流を阻害している。
- ・一般国道116号の渋滞解消により、新潟東港へのアクセスが強化され、製造業や物流企業の 生産活動を支援する。

関係する地方公共団体等の意見

市長の意見:

国道116号新潟西道路事業は、慢性的な交通渋滞の解消や交通事故の減少の他、周辺の生活道路 における安全性向上及び産業活動の支援など様々な効果が期待される。

また、当該道路と一体となって機能する新潟中央環状道路(国道116号から国道8号区間)が今年3月 に開通し、北陸自動車道 黒埼スマートICへのアクセス性が向上しており、当事業によって、本市の 目指す多核連携型の都市構造を支える幹線道路ネットワークがさらに強化されることも期待される。 事業継続にあたっては、全体事業費の抑制のため、更なるコスト縮減に努め、早期供用に向けて 速やかな事業執行をお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

・審議の結果、再評価及び対応方針(原案)のとおり、事業継続することが妥当。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・令和2年度に、一般国道116号吉田バイパスが事業化された。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業の進捗状況:用地進捗率3%(面積ベースでの進捗率:32%)、事業進捗率2%(令和5年3月末時点)
- ・残事業の内容:調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・早期整備に向けて明田交差点~曽和交差点の調査設計、用地買収及び工事を推進する。

施設の構造や工法の変更等

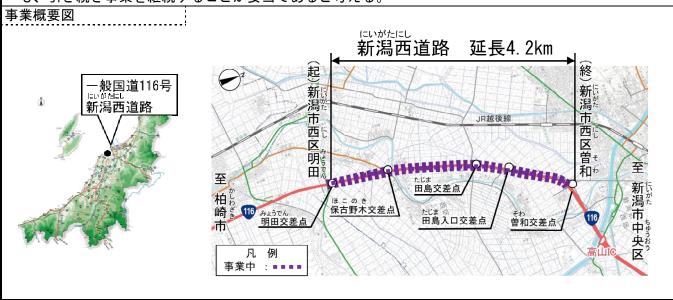
・施工にあたっては、他事業の建設発生土の有効利用、コンクリート二次製品の活用等により、コスト縮 減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みなどから も、引き続き事業を継続することが妥当であると考える。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。